

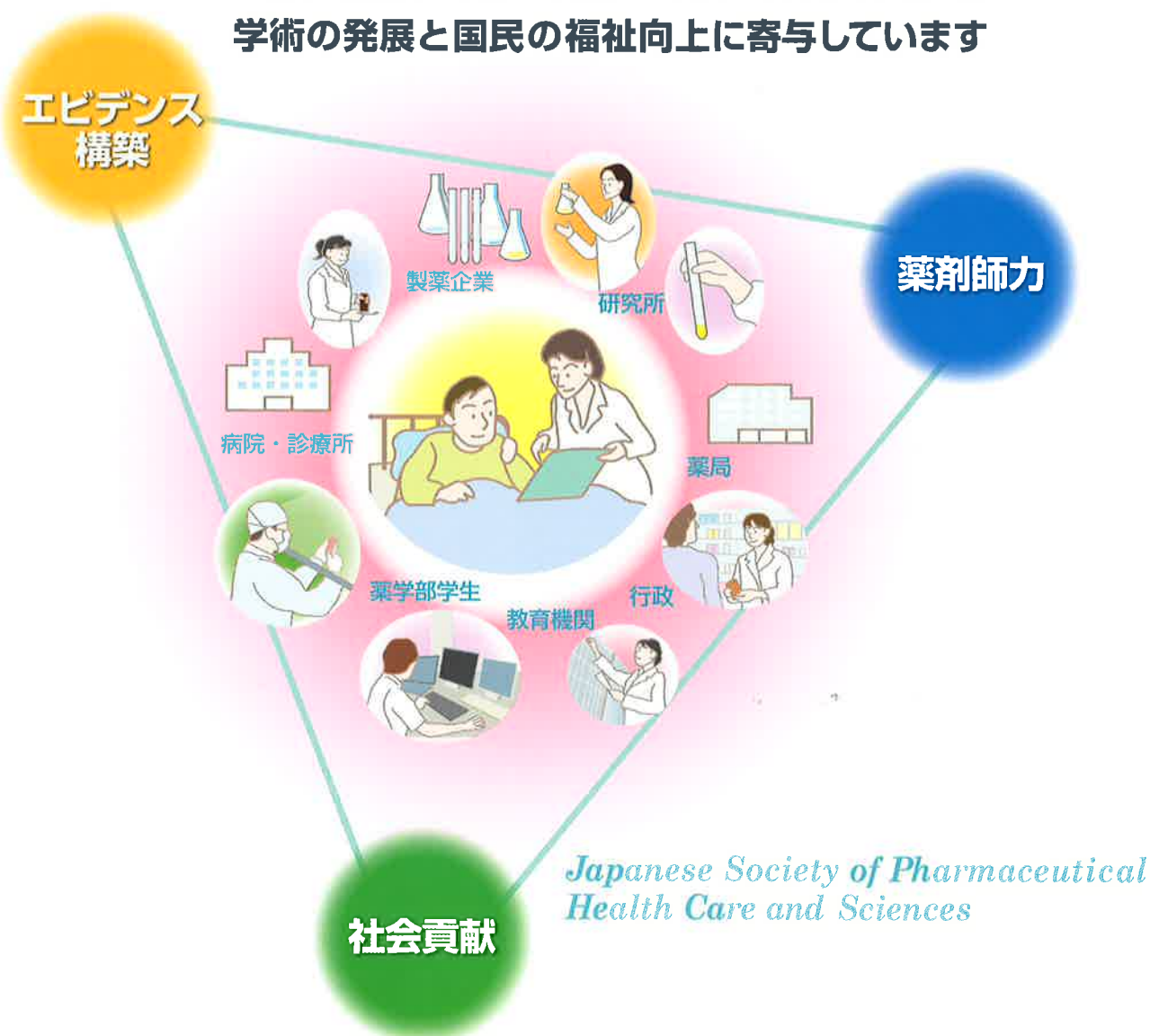


一般社団法人

日本医療薬学会

日本医療薬学会は、病院、薬局、製薬企業、
薬学教育機関等に携わる皆さんの学会です

薬のプロフェッショナルが集い、
医療に直結する薬学分野の研究・教育を通して、
学術の発展と国民の福祉向上に寄与しています





エビデンス構築

薬物療法の科学的基盤を創る

薬物療法は年々高度化・複雑化しています。薬のリスクを最小に抑えつつ効果を最大にするには、薬物療法に関する良質なエビデンスの構築が必要です。

日本医療薬学会は、基礎・臨床研究を通じて薬剤業務の学術基盤を構築し、ベッドサイドへ還元するための技術開発を推進しています。

薬剤師に求められるもの

薬物療法の高度化・複雑化に対応した専門知識・技術の修得

豊かな人間性、高い倫理観、医療人としての深い教養

問題発見能力・問題解決能力及び現場で活躍できる実践力

日本医療薬学会は、医薬品適正使用のための良質のエビデンスを構築し、薬学的観点から医薬品の有効性・安全性の確保を目指します

薬剤師力

薬剤師の専門性に磨きをかける

日本医療薬学会では、学術的基盤に立脚した薬の専門家として広い知識と錬磨された技能を備えた薬剤師を「認定薬剤師」として認定する制度があります。

平成21年からは薬剤師に関する資格として初めて医療法上広告が可能な「がん専門薬剤師」を認定しています。

薬物療法において幅広い領域で高い水準の知識・技術と臨床能力を備える薬剤師として、新たに「薬物療法専門薬剤師」の認定もしています。

認定薬剤師制度 (平成25年1月現在)	
指導薬剤師	(731名)
認定薬剤師	(1,218名)
認定薬剤師研修施設	(238施設)
がん専門薬剤師制度 (平成25年1月現在)	
がん指導薬剤師	(210名)
がん専門薬剤師	(286名)
がん専門薬剤師研修施設	(255施設)
薬物療法専門薬剤師制度 (平成25年1月現在)	
薬物療法専門薬剤師	(10名)
薬物療法専門薬剤師研修施設	(143施設)

*薬物療法指導薬剤師は平成25年度より認定する。

社会貢献

質の高い薬物療法を実践し社会に貢献する

近年、薬剤師の業務は調剤や医薬品管理業務に加え、地域や病院における多職種医療チームの一員として、薬物療法の安心・安全に関わる内容へと急速に拡大しています。

厚生労働省医政局長通知(平成22年4月)では、「医療技術の進展とともに薬物療法が高度化しているため、医療の質の向上及び医療安全の確保の観点から、チーム医療において薬剤の専門家である薬剤師が主体的に薬物療法に参加することが非常に有益である」と明記されました。

日本医療薬学会は、医療に直接携わる薬剤師だけでなく、大学、製薬企業、行政など薬に関わる全ての職種が連携し、薬物療法の知識と技術を進歩・普及させることで、医療の発展と国民の福祉向上を目指しています。

学会活動の概要

(1) 学術集会の開催

年会(年1回)
公開シンポジウム(年4回)
がん専門薬剤師集中教育講座(年4回)

(2) 医療薬学関連刊行物の発行

学術誌「医療薬学」の編集・発行(月刊):
電子化された投稿・編集システムを用いて最新の学術成果を迅速に公表
「医療薬学フロンティア」シリーズ、
「薬剤師のための疾患別薬物療法」シリーズ、
「スタンダード薬学シリーズ11 病院・薬局実務実習」等、
教科書・参考書の編集・出版

(3) 認定薬剤師制度・専門薬剤師制度

認定薬剤師・指導薬剤師の認定
がん専門薬剤師・がん指導薬剤師の認定
薬物療法専門薬剤師・薬物療法指導薬剤師の認定

(4) 学会賞の選考・表彰

功績賞、学術貢献賞、奨励賞、Postdoctoral Award、
論文賞の選考と成果の周知

(5) 関連学会、団体との連携及び協力

日本薬学会、日本病院薬剤師会 等

(6) 海外研修プログラム

米国臨床腫瘍学会(ASCO)
年会への参加と米国病院におけるがん薬物療法に関する研修



年会

会員による研究発表のほか、多種多様なシンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッションなどが生まれ、年1回、国内主要都市において開催されています。薬剤師の職能向上に伴い演題数、参加者数は年々増加しており、業種や職種を超えた情報交流の場として著しい発展を遂げています。



第23回 日本医療薬学会年会

開催日: 平成25年9月21日(土)・22日(日)
開催地: 仙台国際センターほか
年会長: 眞野 成康
(東北大学病院教授・薬剤部長)

第24回 日本医療薬学会年会

開催日: 平成26年9月27日(土)・28日(日)
開催地: 名古屋国際会議場
年会長: 奥田 真弘
(三重大学医学部附属病院教授・薬剤部長)

公開シンポジウム

医療薬学の普及と会員の研修を目的に、年4回、全国各地で開催しています。本シンポジウムには、会員・非会員の区別なく参加できます。

入会の勧め

日本医療薬学会は、約9,700名の会員（平成24年12月現在）を擁する本分野における国内最大の学会です。年会は、医療薬学分野における最新情報をキャッチアップし、情報交換を行うには大変有用な機会であり、薬剤師が日常的に実践する業務、教育、研究のバックボーンとして、さらには業種や職種を超えた会員相互の交流の場として重要な役割を果たしています。

現役薬剤師の方々、将来の医療薬学に関わる薬学生の方々、その他、医療薬学に関心のある方々の入会を心からお待ちしています。

会員資格・年会費

医療薬学に関心のある方なら誰でも会員になることができます（本学会会員からの推薦は不要です）。

＜年会費＞

正会員 9,500 円 学生会員 5,000 円

詳しい情報についてはホームページ

（<http://www.jsphcs.jp/tetsuzuki/01.php>）にアクセスしてください。

会員のメリット

1. 学会誌「医療薬学」（月刊）が送付されます。
2. 本学会認定薬剤師の認定資格が得られます。
3. がん専門薬剤師の認定取得への道が開けます。
4. 薬物療法専門薬剤師の認定取得への道が開けます。
5. 本学会年会に会員価格で参加できます。

各認定制度に関する詳しい情報についてはホームページ（<http://www.jsphcs.jp/>）を参照してください。



一般社団法人

日本医療薬学会

学会事務局

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会 長井記念館

TEL 03-3406-0787(代表) FAX 03-3406-0789

URL <http://www.jsphcs.jp/> E-mail info@jsphcs.jp